



平成二三年度代議員会

公益財団法人への移行を決議

◆秋田県消防協会◆

秋田県消防協会の平成二三年度代議員会が五月二十四日(火)、秋田市の「イヤタカ」で秋田県副知事堀井啓一様、秋田県議会総務企画委員長佐藤賢一郎様、秋田海上保安部長松尾映正様、秋田県消防学校副校長富岡正毅様を来賓に迎え、代議員六二名が出席し開催された。

代議員会では、最初に三月一日発生した東日本大震災で犠牲となられた多くの方々々に黙祷を献じた。中泉松之助会長はあいさつで「この東日本大震災での消防職団員の活動は多くの国民から高い評価を得るなど、大災害時における消防活動の重要性が改めて認識させられた。私達消防人はあらゆる災害に全力で取り組んでいかなければと決意を新たにしているところ」とし、続いて協会の今年度の活動方針を述べた。

■公益財団法人への移行

七月の移行認定の申請、来年二

題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費を含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二十三年度全国統一防火標語

消したはず 決めつけないで もう一度

月には移行登記ができるよう作業を進めている。議案として提案しているが皆様のご理解をお願いする。

■平成二四年度全国女性消防団員活性化大会の秋田開催
来年一月九日、一〇日の二日間、秋田市で開催すべく実行委員会を立ち上げ、準備に入ることとしている。皆様の全面的なご支援を頂き、成功裏に終えたい。

■消防互助会事業への加入促進
消防互助会は、「罹災互助会」から名称を替え、今年度からスタートしたが、結婚祝い金の贈与など内容も充実させたので会員全員が加入されるよう期待している。

議事では、提案された一三議案が承認されたほか、役員改選(四ページ参照)が行われ、正副会長は全員再任された。また、東日本大震災の発生に伴う日本消防協会福祉共済事業の改正(四ページ参照)等の報告、今年度の秋田県消防操法大会出場順の抽選(四ページ参照)が行われた。

■承認された議案

- ①平成二二年度事業の概要報告
- ②平成二二年度会計決算

③監査報告

- ④平成二三年度事業計画
- ⑤平成二三年度支部分担金徴収額
- ⑥平成二三年度会計予算
- ⑦年度内一時借入
- ⑧監事補充の委任
- ⑨公益認定申請
- ⑩公益財団法人秋田県消防協会の定款

■報告事項

- ①平成二四年度全国女性消防団員活性化大会の秋田開催
・平成二四年一月九日(金)と一〇日(土)の二日間開催
- ②日本消防協会第一回代議員会の決議(四ページ参照)
- ③平成二四年度秋田県消防大会の開催支部
・湯沢市雄勝郡支部に決定

■報告事項

- ①平成二四年度全国女性消防団員活性化大会の秋田開催
・平成二四年一月九日(金)と一〇日(土)の二日間開催
- ②日本消防協会第一回代議員会の決議(四ページ参照)
- ③平成二四年度秋田県消防大会の開催支部
・湯沢市雄勝郡支部に決定

《平成23年度事業計画》

1. 消防思想普及啓発事業

事業項目	実施内容	実施時期
消防思想の普及啓発	新聞「消防秋田」を毎月1回(1,100部)発行する	毎月
	ホームページの開設	年間
火災予防運動の推進	防火ポスターコンクールの実施	平成23年11月
	支部活動の推進 (防火弁論大会・防火座談会の開催)	年間
殉職者慰霊に関する事業	殉職消防職・団員慰霊祭の執行 第30回全国消防殉職者慰霊祭への参列	平成23年8月24日 平成23年(11月以降に延期)

2. 地域消防防災力向上推進事業

事業項目	実施内容	実施時期
消防団員の教養研修	現地における教養研修	年間
	消防学校での教育訓練 ・女性消防団員研修【新規】 ・消防団員指導員研修 ・幹部教育 ・基礎教育	平成23年10月29日～30日 平成23年11月26日～27日 平成24年1月21日～22日 平成24年2月18日～19日
	日本消防協会等への派遣研修 ・消防団長等幹部海外事情調査(ヨーロッパ) ・第26回日中消防友好調査(中国コース) ・第38回消防団幹部特別研修 ・第11回消防団幹部候補中央特別研修(男性) ・第11回消防団幹部候補中央特別研修(女性)	平成23年9月13日～21日 平成23年10月21日～28日 平成24年1月17日～20日 平成24年2月7日～9日 平成24年2月13日～15日
	第64回秋田県消防大会の開催	平成23年6月25日
	全県消防団長研修会の開催	平成23年11月25日
	女性消防団員の研修 ・全国女性消防団員活性化秋田大会実行委員会の設置【新規】 ・第17回全国女性消防団員活性化香川大会 ・女性消防団ネットワーク会議の開催	平成23年5月～ 平成23年11月11日～12日 平成24年2月9日
	消防技術の向上と 消防設備の斡旋	消防操法大会の開催 ・支部大会開催への助成 ・第48回秋田県消防操法大会の開催 ・第20回全国女性消防操法大会への出場助成 消防車両の斡旋 消防活動促進事業
消防団活動の活性化	消防団活動活性化の推進 ・消防団員の確保、消防広域化支援事業	年間
	女性消防団員の活動促進 ・女性消防団員制服等の交付	年4回
	消防制度の検討 ・東北地区消防連絡協議会(新潟県)	平成23年7月14日～15日

3. 消防職団員福利厚生事業

事業項目	実施内容	実施時期
表彰に関する事業	秋田県消防協会長表彰	平成24年1月1日
	日本消防協会長表彰	平成24年2月23日
消防互助会事業	罹災見舞金の交付 弔慰・傷痕見舞金の交付 結婚祝い金の交付【新規】	年間
共済事業	消防団員福祉共済事業 婦人消防隊員等福祉共済事業 消防互助年金制度 火災共済制度	年間

4. 会議の開催

事業項目	実施内容	実施時期
会議の開催	理事会	年3回開催
	代議員会	平成23年5月24日

《平成23年度 会 計 予 算》

(単位：円)

勘定科目	予 算 額	摘 要
I 事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
(1) 会費収入	5,700,000	消防互助会掛金
(2) 事業収入	241,500	新聞広告料
(3) 補助金等収入	13,369,000	秋田県、日本消防協会からの補助金等
(4) 負担金収入	5,516,000	
負担金	1,758,000	秋田県からの負担金
市町村負担金	3,758,000	支部負担金
(5) 寄付金収入	6,034,000	会員会費
(6) 雑収入	190,000	
(7) その他事業活動収入	1,000,000	消防互助会預り金からの繰り入れ
(8) 事業活動収入計	32,050,500	
2. 事業活動支出		
(1) 事業費支出	28,010,000	主な公益事業の事業費
		(1) 消防思想普及啓発費 2,500千円
		(2) 火災予防運動の支部活動費 900千円
		(3) 秋田県消防大会費 840千円
		(4) 全県消防団長研修会費 256千円
		(5) 女性消防団員活性化全国大会派遣費 1,262千円
		(6) 【新】秋田大会実行委員会設置費 500千円
		(7) 女性消防団ネットワーク会議費 336千円
		(8) 秋田県消防操法大会費 1,229千円
		(9) 支部操法大会助成費 900千円
		(10) 【新】女性消防団員研修費 303千円
(2) 管理費支出	4,803,000	
(3) その他事業活動支出	200,000	協会長表彰旗更新積立金
(4) 事業活動支出計	33,013,000	
3. 事業活動収支差額	△ 962,500	
II 当期収支差額	△ 962,500	
III 前期繰越収支差額	4,600,558	
IV 次期繰越収支差額	3,638,058	

[再掲]

平成23年度 消防互助会収支予算

(単位：円)

勘定科目	予 算 額(A)	前期予算額(B)	増 減(A-B)
収入の部			
掛金収入	5,700,000	5,700,000	0
見舞金充当金	1,000,000	1,000,000	0
収入計	6,700,000	6,700,000	0
支出の部			
事業費	2,100,000	2,000,000	100,000
罹災見舞金	780,000	2,000,000	△ 1,220,000
弔慰・傷痕見舞金	330,000	0	330,000
結婚祝い金	990,000	0	990,000
管理費支出	4,400,000	4,216,800	183,200
退職給付引資産取得支出	172,000	395,000	△ 223,000
予備費	28,000	88,200	△ 60,200
支出計	6,700,000	6,700,000	0

財団法人秋田県消防協会 役員名簿

(※平成23年5月25日現在)

役 職	所属・階級等	氏 名
会 長	秋田市消防団 団長	中 泉 松之助
副 会 長	能代市消防団 団長	中 田 潤
副 会 長	由利本荘市消防団 団長	畠 山 勉
副 会 長	大仙市消防団 団長	草 彌 忠 誠
理 事	秋田県総務部 総合防災課 課長	佐 藤 昇
理 事	鹿角市消防団 団長	黒 澤 文 男
理 事	横手市大森消防団 団長	稲 葉 盛 榮
理 事	大館市消防団 団長	成 田 十喜男
理 事	潟上市消防団 団長	古 戸 俊 行
理 事	湯沢市消防団 団長	近 野 宗 一
理 事	秋田市消防本部 消防長	佐 藤 肇
理 事	大曲仙北広域市町村圏組合 消防本部 消防長	伊 藤 和 美
理 事	能代山本広域市町村圏組合 消防本部 消防長	日 沼 一 之
理 事	秋田県消防協会 事務局長	進 藤 鋼 司
監 事	男鹿市消防団 団長	佐々木 善 廣
監 事	北秋田市消防団 団長	北 林 榮
監 事	横手市横手消防団 団長	泉 信 一

第48回秋田県消防操法大会出場順

支部名	種目等	小型ポンプ操法の部	ポンプ車操法の部
鹿 角		1	7
大 館 北 秋 田		8	1
能 代 市 山 本 郡		6	5
男 鹿 潟 上 南 秋		2	6
秋 田 市		7	3
本 荘 由 利		9	4
大仙市仙北市美郷町		3	
横 手 市		4	2
湯 沢 市 雄 勝 郡		5	

※ 9月8日(木) 秋田県消防学校

東日本大震災に伴う
福祉共済制度の見直し

● 日本消防協会

五月一〇日(火)、日本消防協会
大会議室で平成二三年度日本消防協
会代議員会が開催された。
代議員会は、この度の東日本大震
災で犠牲になられた方々に対し黙祷
を献げた後、議案審議が行われ、提
出された議案すべてが承認された。

- ・平成二二年度事業報告
- ・平成二二年度決算認定
- ・監査報告
- ・平成二三年度収支補正予算

・ 日本消防協会消防団員福祉共済
制度規約の一部改正
・ 婦人消防隊員等福祉共済制度規
約の一部改正

秋本敏文理事長は議案提案理由の
中で「東日本大震災によって仲間
ある消防団員二五〇名近くが殉職さ
れた。弔慰金等の交付額は、通常
の場合、一人当たり二、八〇〇万円
必要総額は七〇億円に達する。こ
れまで積み立ててきた支払準備金引
当状況を全額取崩しても、到底間に
合う状況にはない」と予算の補正や福
祉共済制度規約の一部改正等が必要
となった背景を説明した。

* 消防団員殉職の状況
(六月一日現在)

死亡者数 一九二名
行方不明者数 五七名
計 二四九名

ここで、東日本大震災で殉職され
た消防団員へ交付する弔慰金等につ
いて、その交付額や不足する財源の
確保対策など福祉共済事業等の対応
策を紹介する。

■平成二三年度事業の見直し等によ
り三〇・八億円を確保

- 車輜交付事業の取り止めと健康
増進事業の圧縮 (二・四億円)
- 福祉共済事業返戻金の取り止め
(二・七億円)
- 平成二三年度繰越金の繰入
(二・七億円)

○ 支払準備金引当資産の取崩し
(二四・〇億円)

■弔慰金等一、二〇〇万円を交付
(二四・〇億円)

- 弔慰金等二、八〇〇万円を特例
的に引き下げて一、二〇〇万円
を交付する。(三〇・〇億円)
- 弔慰金 一、一〇〇万円
- 遺族援護金 一〇〇万円
- 計 一、二〇〇万円

○入院見舞金などの給付追加
(〇・八億円)

■殉職消防団員特別見舞金の募集

- 殉職消防団員のご遺族を支援す
るため、全国の消防団員や一般
の方々から見舞金を募集する。
- ・募集期間
平成二三年五月一六日～
平成二三年一二月三一日
- ・振込先
銀行・支店名
りそな銀行 東京公務部
口座番号
普通預金 〇〇七〇六八二
口座名
(財)日本消防協会殉職消防
団員特別見舞金
(二ツシヨウトクベツミマイキン)

■支払準備金積戻しのため年掛金を
四、〇〇〇円に改定

- 来年度から三年間に限り、年掛
金を三、〇〇〇円から四、〇〇〇
円とする。

防災対策シリーズ⑥ 地震対策(3)

グラツときたら、どうする。 =とっさの状況判断が、生死を左右します=

揺れが大きい場合は、どこにいても最初の1分間は身の安全確保が先決です。

「阪神・淡路大震災」のとき、39.5%の方が「何もできなかった」と答えています。

いざというときに冷静に行動できないと、命に関わる危険性もあります。

地震発生時にあわてないためにも、いざというときどうしたらいいのか、ご紹介します。

1 就寝中だったら

- ふとんや枕などで頭を保護しながら、転倒のおそれがある家具（タンス、鏡台など）からできるだけ離れましょう。
- ベッドで寝ている場合は、迷わずベッドの下にもぐり、揺れが収まるのを待ちましょう。



2 料理中だったら

- 揺れを感じてすぐに火を消せるときは、火を消しましょう。
- 大きな揺れのときは、揺れが収まってから火を消すように。テーブルなどの下にもぐり、なべ、お盆、クッションなどで頭を保護しましょう。



3 お風呂やトイレに入っていたら

- 風呂場やトイレは、比較的安全な場所とされています。
- あわてて飛び出さず、ドアや窓を開けて出口を確保しましょう。
- お風呂に入っているときは、落ち着いて火の始末をし、服を身につけて脱出しましょう。
- お風呂で裸でいる間は、窓ガラスや鏡の破片、タイルなどの落下物に注意して下さい。

4 デパート・スーパーにいたら

- ショーケースの転倒、商品の落下、ガラスの破片に注意しましょう。
- 柱や壁際に身を寄せ、衣類や手荷物で頭を保護しましょう。
- もし、子どもを連れているときは、しっかり抱え込んで、上着などで頭を保護して下さい。
- 店員の指示に従って行動しましょう。あわてて出口に殺到すると、パニックになることがあります、危険です。

5 繁華街にいたら

- ガラスや看板、ネオンサインなどの落下物に注意して下さい。手荷物などで頭を保護し、広場などへ逃げましょう。
- 建物や塀、電柱などから離れましょう。また、自動販売機の転倒にも注意しましょう。

7 バスに乗っていたら

- 座っている場合は、前かがみになって、前の座席の背もたれをしっかりとつかみます。
- 立っている場合は、つり革やシートの手すりをしっかりと握るか、しゃがみ込んで座席の脚にしがみつくようにしましょう。



6 電車に乗っていたら

- 電車は揺れを感じると、自動的に停車します。
- 将棋倒しや網棚からの落下物に注意し、つり革や手すりにしっかりとつかまりましょう。
- 座っているときは、足を踏ん張って状態を前かがみにし、雑誌やバッグなどで頭を保護しましょう。

8 車を運転していたら

- 急ブレーキは重大事故の原因になります。ハンドルをしっかりと握って徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車して、エンジンを切りましょう。
- 揺れが収まるまで車外には出ず、カーラジオなどで情報を確認しましょう。
- 車を離れるときは、窓を閉め、キーは付けたままで、ドアはロックしない

第六五期初任教育

実技訓練も本格化

秋田県消防学校

秋田県消防学校で初任教育が始まって以来最多の九二名が入校した第六五期生は、四月八日の入校式からもう二ヶ月が過ぎた。

入校当初、入校生にとっては消防という全く未知の分野の教育訓練が始まることへの不安、また、初めて出会う仲間と寮で共同生活することへの戸惑いなどが感じられたが、今ではみんなが打ち解け合い、協力して日々の学校生活を送っている。

三月十一日の東日本大震災を仙台



市で被災した入校生の一人は、「た

かかった。どんな時でも、どんな状況でも人々を助けられる消防士になりたい」と決意も新たに訓練に取り組んでいた。

教育訓練も五月に入ると、体力錬成、礼式訓練から消防基礎技術の習得へと移行し、現在では、空気呼吸

機器取扱訓練、身体結



ス編成で実施され、学生一人一人が資器材を効率よく使用し、濃密な訓練が行われていた。また、実科訓練と座学を関連付け、知識と行動の一体性を認識させる工夫も行われているなど、初任教育の到達目標である「直ちに警防隊員として活動できる」能力の習得に向け、充実した教育訓練が続けられていた。

消防学校に入校して 第六五期初任教育入校生

秋田県消防学校から、今年の初任教育入校生の『消防学校に入校して』と題した作文が寄せられたので、皆さんに紹介します。



岩谷 源太 大館市消防本部

私は、平成二三年三月十一日仙台にいた。まだ学生だったため、大館に帰らずいろいろなことをしていた。その日部屋でくつろいでいると、午後二時四六分今まで体験したことのない揺れがきた。私は窓を開けて三階から飛び降りようとも考えた。さらに隣のマンションの壁が崩れてきたため、裸足で外に飛びでた。そ

して全てが停電になり、今までにない暗さの夜を迎えた。夜もサイレンの音が鳴り続けて、消防の人達は救助に向かっていた。私は人を助けたいが、まだ知識も技術もないのでなにもできない自分が悔しいと感じた。そして早く力を付けて人々を救いたいと強く思った。

それから数日がたち、私は大館に帰ってきた。仙台と比べ物資はまずまずあるため過ごしやすかった。しかし自分だけこんな幸せに過ごしていてもだめだと思ったので、父になにかできないかと相談した。そして被災地に送る救援物資の役割の人が足りないと思ったので、私は一〇日間手伝いにいった。重い荷物をずっと運んだりの重労働であったが、被災地の人のことを思うと力が出てきた。

また私は昨年から今年の三月まで仙台の専門学校で勉強していたが、そこで同じ消防を目指してきた仲間がいる。そこで実際に家を失った人や友人を失った人もいた。また、連絡を取ることができない人もいた。その人たちを思うと本当に胸が痛くなる。だから力を付けていくしかない。そして平成二三年四月八日、秋田県消防学校に無事入校することができた。六五期は今まで最大の人数だ。私も九二人と聞いてびっくりした。しかしその反面、いろいろな人に出会えるというわくわく感もあつ



高橋 大貴
大曲仙北広域市町村圏
組合消防本部

消防学校に入校してこれから約六カ月の消防士になるための訓練が始

た。四月六日、同じ三〇五号室の人たちと会った。皆明るく親切だったのですぐ友達になることができた。四月七日は皆の前で一人一人自己紹介があった。私はとにかく大きな声を意識した。やはり消防士はしゃきつとしていなければだめだと思う。だから今後も生活にめりはりを付けてきびきびといく。またその日の午後からは入校式の練習もすっかりとやった。やはり始めのスタートは大切だから入念に皆練習した。そして四月八日午後一時から秋田県消防学校六五期の入校式の本番がはじまった。直前までしっかりと練習していたため、堂々とやることができた。そして入校式を終えて改めて気持ちを引き締まった。やはり消防は小学生からのあこがれの職業だったし、なによりも今までお世話になった大館市に今度は消防士として恩返しをしたいからだ。そのためには毎日の訓練、勉強をしっかりとやり力と知識、技術を付けなければならぬ。また仲間と協力、そして競い合つて上を目指す。

まる。その中で私は目標を三つ達成させたいと思う。
一つ目は消防士としての技術を確実に身に付けるということだ。消防学校では放水訓練・救助訓練など実践的なものから法律など消防士として働いていくために必要な非常に沢山のことを学ばなければいけない。それは並大抵のことではないと思う。しかし、消防士という職業は人の人命を預かる重要な仕事である。また人の命だけでなく一歩間違うと自らの命を失うことにもつながるとも危険な職業でもある。なのでこの技術、知識を教わる消防学校での授業、訓練に懸命に取り組み、確実に取得したい。
二つ目は社会人としての基本を身に付けるということだ。今までは学生として過ごしてきたが、これからは社会人として生活していかねばいけぬ。学生の時のように甘いなどは言っていられない。なので社会人としての基礎を消防学校で身に付けたいと思う。寮生活では自分是最も年下である。同期の中には大学を卒業してきた人や会社勤めしていた経験のある人など多くの社会人を一緒に生活していき、そんな先輩でも多くのことを吸収し、身につけたいと思う。
三つ目は多くの友人を作ることだ。六カ月の間一緒に寮生活

を送っていく中で沢山の友人を作りたい。消防士は危険な現場で命のやりとりをしなければならぬ。とても一人では出来ない。多くの仲間と自分の命を預けてもいいというくらい信頼関係を築かなければならぬ。消防学校でいろいろな地域の幅広い年代の人たちと生活していかねばならぬ。六カ月の間という短い期間の間だが多くの人たちとそういった信頼関係を築いていきたいと思う。
三月一日に発生した東日本大震災では一万人以上の人が亡くなり、未だに一万人以上の人の行方が分かっていない。こうした大災害が起こる以上消防の必要性、重要性はますます高まってくると思われる。そのような時に消防士となつたものなにかの縁だと思ふ。消防学校での生活は非常に厳しくきついものになると思われる。しかし、自分達の力が必要になる。多くの人々の役に立つことが出来るということ忘れてはいけないと思う。これからの消防は自分たちが担っていくんだという強い意思を持ち、三つの目標を達成し、立派な消防士となるためにこれから六カ月の間全力で頑張っていく。



森田ポンプ
桜ホース・ソフト吸
各種消火器

ラビットポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 協立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

にかほ市女性消防団の活動

Ⅱにかほ市消防団Ⅱ

にかほ市消防団では平成一九年に初の女性消防団員が誕生しました。当時九名で発足して以来、団員数が増え平成二三年度四月一日現在では、総勢一九名となり地域防災の担い手として重要な役割を果たしています。

発足当初は基本的な防災の知識と技術を一般住民へ指導するための地道な活動で、活躍する場も小さなものでありましたが、現在ではその地道な活動が実を結び女性消防団員としての活動が広く知られるようになり防災訓練の参加や防災指導の依頼をされるが増えてきました。主な活動内容としては、防災訓練等に参加し応急担架搬送や地域住民の防



災意識向上のための普及啓発活動、住宅火災警報器の設置義務化についてPRするため街頭へ立ち市民への広報活動、また独居老人宅への防火防災指導や保育園・幼稚園へ出向き紙芝居、寸劇などを交えながら幼児防災教育をおこなうなど、多彩な場面で活躍の場がますます広がっています。その姿は女性消防団員としてこの数年で頼もしく成長してきました。また知識・技術と共に経験を重ね、さらに有事に備え実際の災害現場活動でも対応できるよう日々研鑽を続けているところであります。にかほ市消防団では、女性消防団員は組織の中核として無くてはならない存在となっており、今後もこの勢いに乗って、にかほ市のみならず他の地域にも女性消防団員の活躍されるネットワークの輪が波及されることを期待されます。(情報提供Ⅱ本荘由利支部)

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成23年		平成22年			同期比較	
	5月	累計	5月	累計	年計	5月	累計
建 物	15	98	22	107	235	- 7	- 9
林 野	3	9	3	7	13	0	2
車 輛	6	12	3	10	27	3	2
そ の 他	5	20	8	29	57	- 3	- 9
合 計	29	139	36	153	332	- 7	- 14
死 傷 者	2	22	1	10	20	1	12
負 傷 者 数	3	25	7	27	58	- 4	- 2

第64回秋田県消防大会
鹿角支部開催のお知らせ

女子マラソンで日本人初の世界チャンピオンとなった『浅利純子様』の講演や、会場前では昔活躍した消防ポンプ車の展示も行いますので、地域の方々も是非お出掛け下さい。

開催日時 平成23年6月25日(土) 午後1時から
開催場所 鹿角市十和田大湯 「大湯温泉 ホテル鹿角」

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 ⅴ(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 ⅴ(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp